

平成30年度 活動報告

幌延町地域おこし協力隊

吉原 ゆりか

報告の流れ

1. 自己紹介
2. 1年目の目標
3. 実績報告
4. 見えてきた現状と課題
5. 2年目の目標

1.自己紹介

名前：吉原 ゆりか

誕生日：1986年9月20日

出身地：札幌市西区

高校：札幌国際情報高校 情報システム科

大学：北海学園大学 経済学部 地域経済学科



1.自己紹介

1社目

株式会社 クラウン・パッケージ

札幌営業所 営業

- 愛知県小牧市所在の世界一薄いダンボールのメーカー
- クライアントは、主に食品メーカーやお菓子屋さん
- 自社の素材を使用したパッケージの企画営業



企画したパッケージの一例（池田食品株式会社）

地方都市の良い物が世の中に伝わっていないと感じる



未だ知られていない地方の魅力を世の中に広めたい！

1.自己紹介

2社目

株式会社リクルート北海道じゃらん

事業統括室 地域振興課 道央エリア担当

- 「お出かけ情報誌」を発行する出版社
- クライアントは道央エリアの観光機関（役場・観光協会など）
- 広告掲載を前提としたグルメ開発や、組織の立ち上げなどの企画営業

今後、観光に携わるには、ASEAN観光客のニーズを分かると有利なのは！？



ASEANに移り住み、知見を深めたい！



1.自己紹介

3社目

PROMOTEC Vietnam. LTD

Account Executive

- 電通のベトナムでのイベントを受託する企業
- クライアントは、日本政府観光局、経済産業省など
- 訪日ベトナム人増加に向けた調査や商談会などの運営管理



これまでの経験を生かして、北海道で活躍したい！

2017年3月帰国

1.自己紹介

帰国後、

「地域活性化へ主体的に関われる」仕事は何か？

就職先を決められず、悶々と悩む日々…。

1.自己紹介

お付き合いしていた人が住む町で

「地域おこし協力隊」を募集中だと知り即応募！

2018年5月1日より

幌延町地域おこし協力隊として活動スタート！



新しい土地で、
新しい苗字になり、
新しい生活がはじまりました。

2.1年目の目標

地域おこし協力隊になった目的

➡ **主体性をもって地域活性化に関わりたい！**

入隊時に決めた目標

- 3年間でPDCAサイクルを回し活動する
- 1年目は、幌延町を「知る」活動を主とし、その他できるかぎりのことを実行する



3.実績報告

- ① 移住情報PR支援センター(ホロカル)の立ち上げ
- ② 情報発信
- ③ ツアー企画・実施
- ④ デザイン作成

3.実績報告

① 移住情報PR支援センター(ホロカル)の立ち上げ

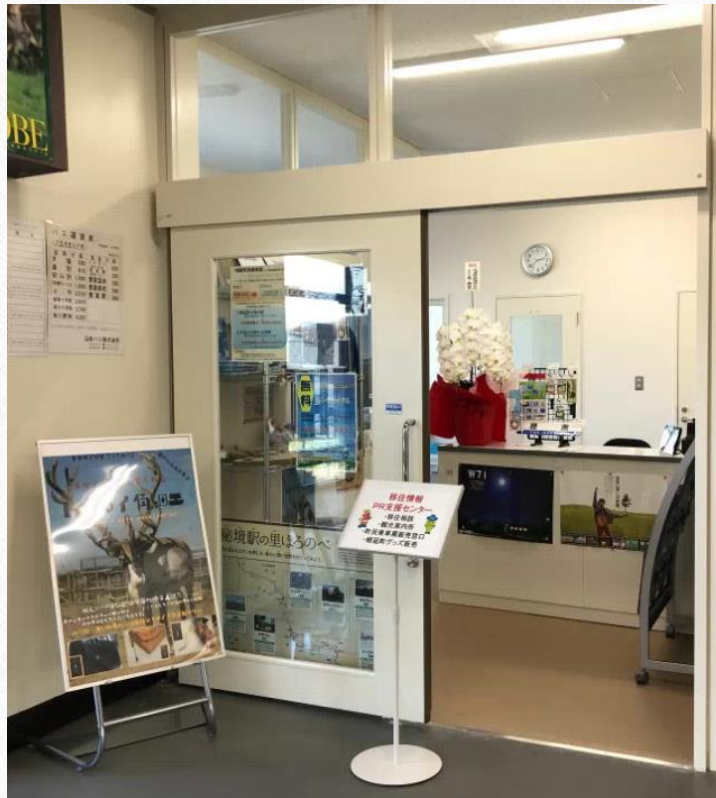
5月1日に幌延駅構内に開設した移住・観光などの相談窓口

- 愛称の募集 **記念すべき、自分が主体の初めての取組み**
- センター掲出物の作成
- 業務内容の整理、マニュアル作成
- コーヒーの販売準備

などなど

3.実績報告

オープン時のホロカルと今のホロカル



Before

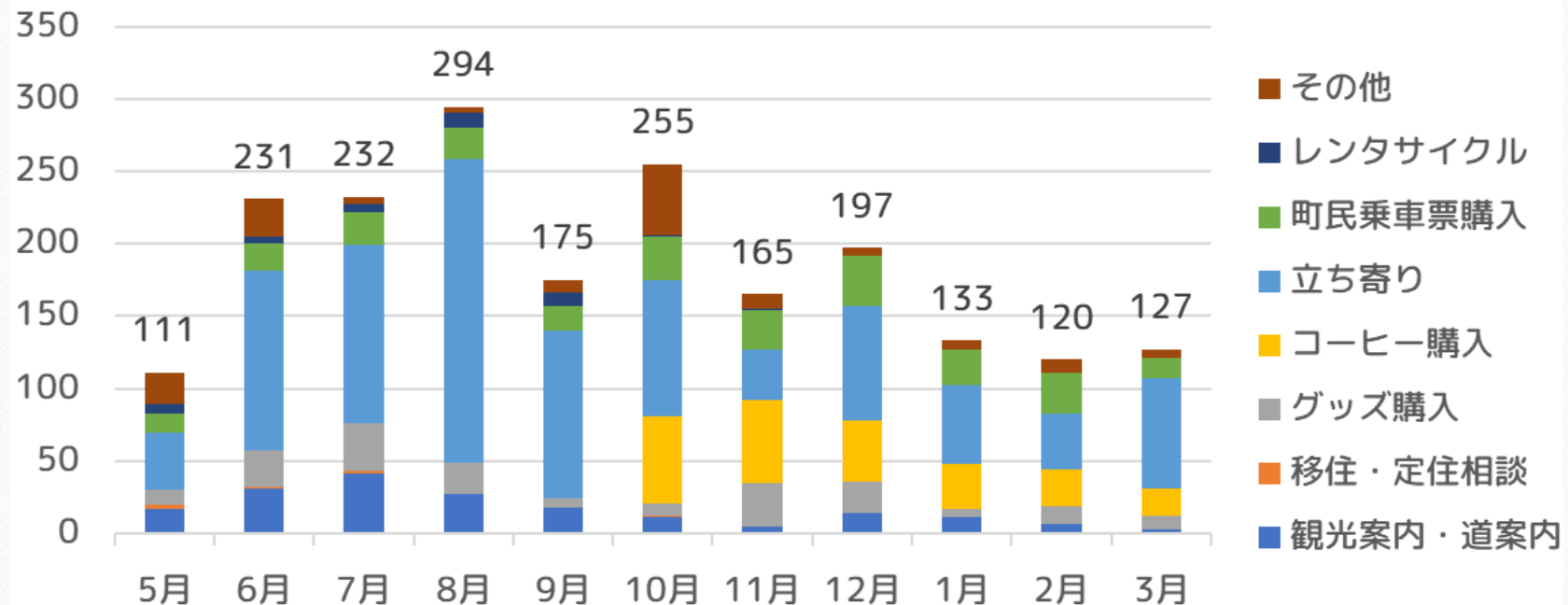


After

3.実績報告

平成30年度のホロカルの入込状況（5/1-3/21）

ホロカル来店目的の月間集計グラフ



合計入込数は2,020名。駅窓口に来たついでや、列車の待ち時間・列車の停車中に店内を見物する立ち寄り来店が最も多い。

3.実績報告

② 情報発信

- 地域おこし協力隊Facebookページ

- 5月1日～3月21日時点68件の投稿（依頼されたものも含む）
おおよそ週1.5回の投稿

- イベント情報・花の開花状況・活動の報告など

- ホロカルでの「見どころ・行きどころ」掲出

- 四季折々の旬のネタを随時更新



3.実績報告

平成30年度の協力隊Facebook投稿アクション数ランキング

順位	アクション数	投稿日	内容
1	567	7/11	名林公園まつりの告知
2	312	12/20	トナカイ観光牧場『あさいち』 放映情報
3	280	12/21	トナカイ観光牧場 『めざましどようび』放映情報
4	251	2/5	ラッセル車の雪かき写真 (青柳さん投稿)
5	222	6/1	若月さんの卒業報告



3.実績報告

③ ツアー企画・実施

幌延の魅力を多くの人に知ってもらうために

ツアーを企画

- 一番もったいないと感じているサロベツ原野を活用
- 動物写真家の富士元さんと、サロエコさんに協力いただき、人を集める
- 単発開催ではなく、持続可能な取り組みを目指す

3.実績報告

1回目『富士元寿彦と行く野鳥撮影観察ツアー』

開催日 2018年10月13日（土）

参加者数 21名（参加無料）町民と町外の方が半々



3.実績報告

2回目『富士元寿彦と行く冬の動物探しスノーシューツアー』

開催日 2019年3月3日（日）

参加者数 17名 （参加費1,000円） 約7割が町外の方



3.実績報告

④ デザイン作成



インフォメーションセンター
ホロカル
(正式名：幌延町移住情報PR支援センター)

ホロカルは、幌延町の玄関口『JR幌延駅』構内にある、幌延の観光・移住などの案内窓口です。

観光案内
観光パンフレット
マップなど
あります

移住相談

**お土産
販売**
トナカイ角細工・
秘境駅グッズ・
珪藻土グッズなど

**町民
乗車票
販売**

**コーヒー
販売**
手淹れホット
コーヒー

**レンタ
サイクル**
貸出無料！
(冬季はお休み)

ホロカル 営業案内

営業時間	9:00~16:00 カフェ▶10:00~15:00	駅跡室	ホロカル	ストーブ
連絡先	☎01632-9-7780	JR幌延駅入口	horokaru45@rb4.so-net.ne.jp	

アクセスマップ①


幌延ビジターセンター
Way to Horonobe Visitor Center

たちよリスポット Drop place
パンケ沼 (Panke Swamp)



天気の良い日には利尻富士が映ります
On a calm day, Mt. Rishiri is reflected on the swamp.

下沼駅 (Shimonuma Station)




無人駅 Unmanned station


たちよリスポット Drop place
湧き水 (Spring water)




駅への道の中に、湧水があります
Spot of spring water is on the way to station.




この1標識の通り、左方向へ進
なりに向かいます
Turn left follow this sign



この1標識がある二股を
右方向へ向かいます
Turn right at this sign
and go straight



駅を出て左に進み、小さな
橋を渡ります
Turn left from station and
cross a small bridge.



■ 移動時間の目安

車	15分
自転車	40分
徒歩	2時間

■ Estimate Time

Car	15min
Bicycle	40min
Walk	2hours

■ 施設情報

営業時間 9:00-17:00(5*10月)

住所 幌延町下沼

電話番号 01632-9-2077

■ 施設紹介

国立公園でラムサール条約にも登録されている「サロベツ湿原」に位置し、湿原に関する展示がある。湿原を散策できる木道も併設。

■ Introduction

This center is located in the Sarobetsu Wetland which is also Designated as the Ramsar Convention in the national park, displaying about this wetland.

ホロカル

HORONOBE ORIGINAL BOTTLE






幌延町オリジナルボトル 販売

幌延町には、知駒岳の恵みを受け美味しい天然水が湧いています。幌延町の水を美味しく飲んでいただけるようにと想いを込め、オリジナルボトルを作りました。あてかけのお供に、ぜひご利用ください。

価格：600円 色：3色(茶・橙・青)

内容量：500ml 素材：アルミニウム

販売場所：**ホロカル**
(幌延駅構内 幌延町移住情報PR支援センター)

幌延町の湧き水スポットのご紹介

- ・ サロベツ湧水権左衛門 ▶ 下沼駅手前
- ・ 下沼湧水 ▶ 下沼
- ・ 知駒の名水 ▶ 知駒魚のみもと

※水質検査はしてありますが、気になる方は、煮沸して飲用ください

お問い合わせ ▶ 幌延町地域おこし協力隊 horokaru45@rb4.so-net.ne.jp 01632-9-7780

3.実績報告

④ デザイン作成



Be Farmer
In Horonobe

北半球のど真ん中
幌延町で酪農家になろう！

新規就農者
酪農実習生・酪農体験
酪農ヘルパー

募集中!

主催 ▶ 幌延町
協力 ▶ 幌延町農業協同組合、雪印メグミルク株式会社幌延工場、幌延町農工会有年部、営人
問い合わせ ▶ 幌延町役場産業振興課企画振興グループ TEL.01632-5-1113

幌延町酪農担い手育成センター

スノーカイト試乗ができる！



2018年12月16日 (日) 11:00~17:00

ホワイトフェスタ

会場：トナカイ観光牧場

イベントプログラム

- 雪上運動会 13:00~受付 14:00~開始
- 井上仁志ライブショー 15:00~
- 雪上バナナポート 11:00~12:30 13:00~15:00
- 花火 15:00~打ち上げ16:30~終了後にサンタさんからプレゼント♪
- スノーカイト試乗 11:30~13:00 13:00~14:00 15:00~16:00
- トナカイそり 11:00~11:30 14:00~14:30 12:30~13:00 15:00~15:30
- フード 11:00~ 井上観光大使のドン菓子、ソフトミルク、チーズ等の乳製品の配布

無料送迎バス運行表

往	乗車	降車
1階	11:30	13:00
2階	12:30	13:30
3階	13:30	14:30
4階	14:30	15:30
5階	15:30	16:30

※送迎無料対象：冬季着申し込み(12/15迄)
幌延町農業協同組合企画振興グループ(016-1113)
又は町農産物生産学習センター(016-5056)まで

HURIKAMUI HORONOBE

第2回スノーカイト・エンデュランスレース in 幌延

サロベツ原野を舞台にしたスノーカイト耐久・アイヌ民話に伝わる巨大な鳥「フリカムイ」のイメージに、大きなカイトを広げ、広大な雪原を疾走する。

日程 ▶ 2019年2月21日(木)~24日(日)

会場 ▶ 幌延町字下沼(幌延ビジターセンター向かい)

スケジュール ▶
21日(木) 公式練習
22日(金) 大会1日目
23日(土) 大会2日目
24日(日) 体験会

2月24日(日) 体験会
時間 10:00~12:00
参加無料
ご使用になりたいスキーやスノーボードの板と、ウィンタースポーツ用の防寒具を着用の上、会場へ直接お越し下さい。(予約不要)

主催 ▶ フリカムイ・ホロノベ実行委員会 / 問い合わせ先 ▶ 実行委員会事務局 ホワイトアイル (TEL: 0136-22-2515)

4.見えてきた現状と課題

観光資源の整理

体験する（見る・聞く・感じる）

- サロベツ原野
- トナカイ観光牧場（ノースガーデン）
- 北大天塩研究林
- ゆめ地創館
- 秘境駅
- オロロンライン
- スノーカイト

食べる

- トナカイ肉
⇒町内流通無し
- 生乳
⇒幌延ブランドではない

泊まる

- 複数あり
⇒ビジネスホテルスタイル

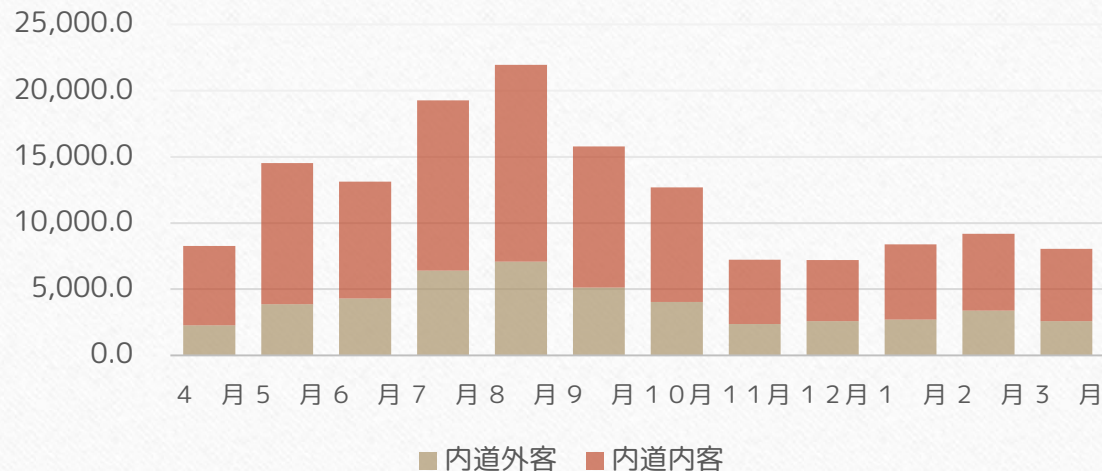
現状①「体験する」観光資源は充実しているが、
「食べる」「泊まる」の観光資源は不足

（観光資源＝わざわざ観光客が訪れる目的となるもの）

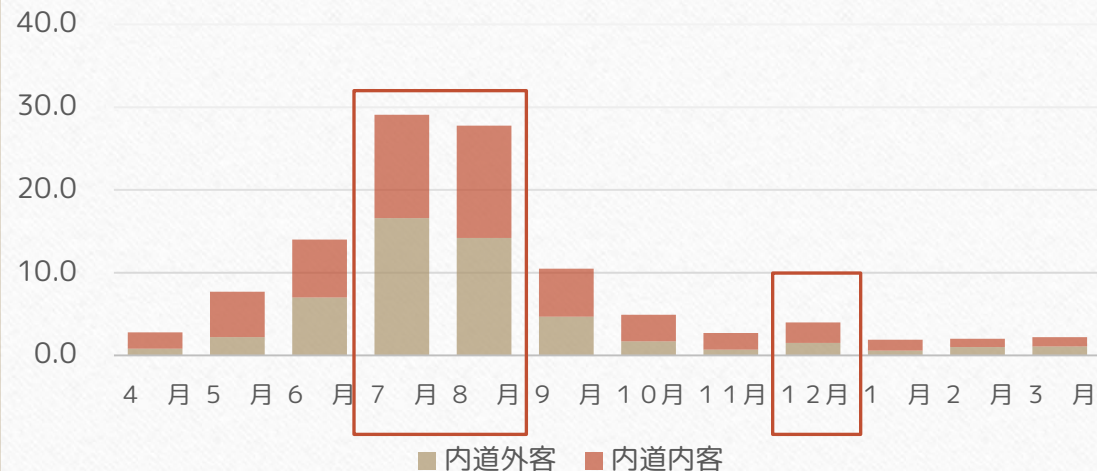
4.見えてきた現状と課題

観光客入込状況の整理（北海道入込と比較）

【北海道】平成29年度月別観光入込客数（千人）



【幌延町】平成29年度月別観光入込客数（千人）



- 7,8月の2か月に入込が集中
- グリーンシーズンの道外客の割合が高い
- 12月に入込が少し伸びる



現状②行楽シーズンの夏休み時期には観光客が増え、特に道外客の訪問割合が高い

※あくまで、自分が分析しやすい「観光地」としての視点に絞った個人的な見解です

出典：北海道庁経済部「北海道観光入込客数調査報告書」

4.見えてきた現状と課題

現状まとめ

- ① 「体験する」観光資源は充実しているが、「食べる」「泊まる」の観光資源は不足
- ② 行楽シーズンの夏休み時期には観光客が増え、特に道外客の訪問割合が高い

夏の「体験」コンテンツは認知されており、
夏の行楽シーズンには人が訪れる（推測：トナカイ観光牧場・秘境駅・サロベツ原野）

課題 全体的に観光資源が不足、特に「食べる」魅力は欲しい！
道内客に四季の魅力の認知が低く、年間集客ができていない

4.見えてきた現状と課題

課題解決のためにやるべきこと

1.今ある資源の磨き上げと「食」の魅力づくり

2.とにかく情報発信！！

3.観光振興の土壌（人）づくり

最重要

5.2年目の目標

今あるものを生かし、磨き上げ、新たな動きを生む



実行します！

2019年度に実施する予定の取り組み

1. サロベツ原野・北大研究林のツアー
2. トナカイ観光牧場・ノースガーデンの磨き上げ
3. ミズナラ樽の端材を利用した特産品（お土産）開発
4. 町内飲食店ガイドブックの発行

などなど

ご清聴ありがとうございました。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします！！

地域おこし協力隊 吉原ゆりか